

議 事 録

会議名	第2回寒川町青少年問題協議会		
日 時	平成28年2月9日（火）午後2時	開催形態	公開
場 所	町民センター 3階 講義室		
出席者	出席者…木村会長、木内副会長、大澤副会長、吉田委員、齋藤委員、大川委員、宇條委員、西海委員、前田委員、下里委員、平本委員、森委員、若林委員、大矢委員、古山委員、坂元委員、磯川委員 欠席者…福島委員、山口委員、金子委員、加藤委員、豊田委員		
議 題	(1) ひきこもりの現状と課題について（講演会） (2) 情報交換 (3) その他		
決定事項	(1)～(3) 説明		
議 事	<p>○開会前に、傍聴希望者なしを確認</p> <p>1. 開 会 2. 任命状交付 3. 町長（会長）あいさつ 4. 議題</p> <p>(1) 【講演】ひきこもりの現状と課題について 神奈川県立青少年センター 青少年サポート課長 須崎健二氏 パワーポイントでの説明</p> <p>■会長 貴重なお話しありがとうございます。若干ですが質問の時間を取りたいと思います。何かありますでしょうか。</p>		

(質疑なし)

## (2) 情報交換

### ■会長

続きまして、議題の2番目、情報交換になります。今回はひきこもりに関する講演を行いました。この問題についての活動報告がありましたらお願いします。

### ●大川委員

はっきりした、不登校やひきこもりの子ではなく、中には未病という段階もあるかと思えます。非常に明るくて健康な子と精神的に悩んで辛い思いをしている子、その間に未病の子がいるような気がしてなりません。むしろ、そのようなお子さんが、私は増えているような気がしています。別の視点からの話で恐縮ですが、以前、全国体力調査が行われました。神奈川県が一番体力が低かったと新聞に載っていました。それは体力が子どもにないのか？私は体力がないのも要因ではありますが、外で遊ばない、孤立化が大きく子どもたちに影響をしているのではないかと思います。本当なら、真っ赤なほっぺたで、駆けずり回っても良いのではないかと思います。そういうお子さんが、家に帰ったら、テレビやゲームを中心にやって過ごしている。それが、段々携帯やスマホをやるようになる。使って悪いわけではないですが、本当だったら多くの人と戯れて、色々な社会経験を積んでいくものが、実際には孤立化が進んでいるのではないのでしょうか。そういう中で、県立センターの先生方、あるいは色々なところでの相談機関があって、相談をしていますが、先ほどの挫折感、孤立感に基づく自己肯定感の低さの改善あるいは、同年代の仲間集団による活動体験、この方法は、私はとても大切な方向性だと思っています。周辺では周辺で、学校では学校で出来ることに取り組んでいけば、少しずつでも改善されていくのではないかと感じています。

■会長

その他にありますか。

■森委員

高校生の状況ということで、参考までにお話しさせていただきます。本校の状況ではなく、神奈川県状況を申し上げます。

公立高校のH26年度、退学者は1126人、全日制では0.88%。理由としては、進路変更で高校を辞めて専門学校へ行くとか働くとかの選択をしたケース。それから、学校生活や学業不適用、それから学業不振が大きいです。不登校については、30日以上欠席の生徒は3457人で2.7%、50日以上だと1.06%で、このくらいだと卒業や進級がなかなか難しくなっている状況であると思います。小中学校で不登校を経験した生徒が高校に入学するケースもありますが、状況を見ていますと、高校の中でも上手に登校が出来ない、さらに途中で退学するケースもありますが、逆に良いケースに進むこともあります。このケースは見えにくいですが、高校入学を機にやり直す、変化していくチャンスもあります。本当に中学校の時とは別人のようになっているケースもありますので。本人の気持ちや周りのサポートで変わっていくチャンスが十分にあると感じています。

それでも、残念ながら高校を離れてしまう生徒に対して、本日は参考に資料を配付させて頂きました。神奈川県教育委員会で作製しているリーフレットです。就労支援や、もう一度学び直すなど、チャンスがあることをアナウンスしながらサポートしています。

■会長

今、委員から高校の状況をお話をさせて頂きました。ひきこもりは、少子化がかなり影響していると思います。昔は家にいないで、外に追い出された記憶があります。外に遊びに行くと一人では何も出来ないの仲間を作ることやっていた。それが当たり前でした。今は一人になれる、あるいは部屋にひきこもれることができ、そこで時間を過ごすことが出来てしまう環境が不登校やひきこもりの状況を作っているのではないのでしょうか。

一回休むと行きづらくなってしまう。周りもある意味

、支えとか声掛けが本当に必要と思います。ひきこもってはいけないとか、不登校の子がマイナスイメージになりますが、周りが受け入れてあげる、部屋から出す。あるいは学校に足を運ぶなど、手を差し伸べることが欠けているのかなと感じます。

■ 会長

他にありますか。今の話に関係したこと。あるいは各団体での報告がありましたらどうぞ。

ひきこもりは男性が多い。また、年齢が高くなってきているなど、様々な課題や問題があるのではないのでしょうか。

■ 古山委員

ひきこもりや不登校の子どもの話を聞くことがあります。今日、講演を聞いた中で、自己肯定感という言葉が出ていました。また、ひきこもりの恥ずかしいというイメージを払拭するというのが心に残りました。本日学んだことを他の人に伝えて、少しでも改善できれば良いと思いました。なお、PTA連絡協議会では、ひきこもりに関しては保護者に向けた勉強会を開催しています。

■ 会長

他にはないのでしょうか？無いようでしたら情報交換については以上とさせていただきます。

ひきこもりの問題は、テレビやマスコミ等でよく取り上げています。社会問題となっていると思いますので、本日の内容について、各団体に持ち帰って、今後の活動の参考にして頂ければと思います。

(3) その他

■ 木村会長

各団体から何かありますか？

■ 坂元委員

寒川町青少年環境浄化推進協議会です。資料の中に入

れさせて頂きました講演会のお知らせをさせていただきます。昨年度も薬物に関する講演会を開催し、多くの方に出席して頂きました。好評をいただき、今年度も最近の薬物情勢と薬物依存について、公開で講演会を実施します。3/24町民センター視聴覚室で開催しますので、お時間のある方は是非出席するようお願いいたします。

私も、横浜ダルク（薬物依存更生団体）に行き話を伺ったことがあります。実際に薬物に陥り更正した方の話を聞きました。非常にリアルで薬物依存から逃れるのは大変です。間近にそういった危険があることを皆さんにご理解して頂きたいと思います。

#### ■ 会長

今、説明のあった講演会は資料として添付してありますので、3/24は夜の開催になりますが、是非薬物の情勢、体験談を含めた話とのことです。環境浄化推進協議会は前年にも中学校の文化祭や高校でもキャンペーンを実施しています。危険ドラッグの関係も、状況、現状を知ることも大事なことです。最近では野球選手の報道もあります。若い人もテレビや新聞で状況を見ていますので、「そうなってはいけない」ととらえてもらえば良いのですが、逆に著名な人でもやってるんだと勘違いしてもらっても困ります。テレビ報道を「これはいけないこと」として報道して頂きたいです。

#### ■ 事務局

1. 参考資料「すつきぷ」の説明
2. H28年度の寒川町青少年問題協議会についてです。皆様の任期は2年間、H26.6.1～H28.5.31となっています。次回の任期はH28.6.1～H30.5.31となります。引き続き各団体からの協議会への委員選出をよろしく願います。新年度になりましたら、依頼文書等を送付させていただきますので、よろしく願います。

5. 閉会（木内副会長あいさつ

